

バローユニオン
新体制が決まる

定期大会

バローグループの労働組合「バローグループユニオン」は16日、第23回定期大会を岐阜市のホテルで開き、写真、10月1日付でバローが持ち株会社体制に移行したことに伴う新組織体制などを決めた。

大会にはグループ各社の組合員代表ら約200人が出席。バローは、グループを統括する「バローホールディ



ングス」、事業会社としてスーパーマーケットの「バロー」と、ホームセンターやペットショップの「ホームセインターバロー」の3社体制となり、これに合わせて組合員の所属会社名を変更した。

大会ではほかに、2015年度予算案など4議案を承認した。石

川洋子中央執行委員長はあいさつで「創業者の伊藤喜美名誉会長の逝去や持ち株会社体制への移行など大きな変化があった一年だった」と振り返った。

記念講演会もあり、日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏が人口減少時代の小売業の今後について語った。